

バ作ラザルナリ、然ルニ佛家ニテハ古クハ別ニ作リテ、楊枝トハ其用ヲ異ニセリ、但シ時ニ或ハ楊枝ヲ擘キテ刮舌刀ノ代用ニシタルコトモアリ、其詳細ハ、左ニ掲グル文ニ據リテ見ルベシ、

〔四分律 五十三〕雜掇度之三

時諸比丘、舌上多垢、佛言聽作刮舌刀、彼用寶作、佛言不應爾、聽用骨、牙、角、銅、鐵、白鐵、鉛、錫、舍羅、草、竹、葦、木、彼不洗便舉、餘比丘見惡之、佛言不應爾、應洗、彼洗已不曬、燥、便舉、生壞、佛言不應爾、

〔毘尼母經 六〕晨起嚼楊枝、竟須刮舌者、佛聽用銅、鐵、木、竹、葦、作刮舌刀、是名刮舌法、

〔南海寄歸內法傳 一〕八朝嚼齒木

每日旦朝、須嚼齒木、楷齒刮舌、務令如法、○中用罷擘破、屈而刮舌、或可別用銅、鐵、作刮舌之篋、或取

竹木薄片、如小指面許、一頭纖細、以剔斷牙、屈而刮舌、勿令傷損、

〔女重寶記 二〕女中よろづくいやうの事

一餅は、楊枝にさしてくふべし、又手にてつまみてもくふべし、

二眞桑瓜くふ事、たてに四つにわり、楊枝をそへ、さらに入出べし、楊枝をとり、瓜の中こそきすて、楊枝にさしくひ給ふべし、

〔嬉遊笑覽 二〕中女鑑寛永前後の書くわしのこと、御すはりなば、まづやうじをとり給ひて、つかは

れ候は、をよこのやうに、やうじを折られ候まじく候、又やうじもちやうの事、大りやく、ゆび二つにてもたれ候、又くわしをもまいり給ふべし、

○按ズルニ、慶安ノ頃ニ在リテハ、男子ハ楊枝ヲ一タビ使ヒテハ、直ニ之ヲ折リテ捨テタルモノト見ユ、其原ハ佛家ノ説ニ據リタルモノナルベシ、左ニ其本説ヲ掲ゲテ、參考ニ供ス、

〔諸經要集 二十〕雜要部 三十七 護淨緣